

演奏曲解説

第1部 吹奏楽オリジナルステージ

■東京オリンピック・ファンファーレ／今井 光也 作曲

1964年10月10日、国立霞ヶ丘陸上競技場にて、昭和天皇の東京オリンピック開会宣言の後、高らかに響いたのがこのファンファーレです。四声のトランペットのみの演奏になります。作曲者の今井光也氏は諏訪交響楽団で指揮をされていたとのことで、車で一時間ほどのところにおられたと聞くと、身近に感ぜずにはられません。

■オリンピック マーチ（1964年東京オリンピック入場行進曲）／古関 裕而 作曲

東京オリンピックの入場行進曲です。各国の最後に入場した日本選手団のときに、この行進曲を最初から演奏しなおし、大勢の方々に感動を与えました。古関裕而は戦前から活躍した作曲家で、数々の曲を残しています。全国高校野球大会の歌である「栄冠は君に輝く」も古関裕而の作曲（1948年）です。そのほか、たくさんの曲が今でも演奏され続けています。

■風紋／保科 洋 作曲

吹奏楽コンクールの1987年の課題曲です。曲が発表されて以降、人気課題曲の上位に入っている曲です。緩急の面白さ、リズムの面白さ、メロディラインの豊かさがありますが、「風紋」という名がついているように、情景が目浮かぶような曲構成が人気の秘密ではないでしょうか。

■SEDONA セドナ／スティーブン ライニキー 作曲

アメリカの作曲家、ライニキーの作品です。幼いころよりトランペットの演奏に才能を発揮していたライニキーらしく、金管楽器の華々しい演奏が印象的です。また、テーマとなっている旋律が急-緩-急と曲の変化する中で、複数の楽器で演奏されるため、音楽としての表情が豊かになっています。

■忠誠行進曲／リヒャルト ワグナー 作曲

ワグナーとしては珍しく、吹奏楽のオリジナル曲となっています。元々は軍隊のための曲だからです。ワグナーはバイエルンの国王ルードヴィヒ二世に心酔され、お城に招かれました。そのときに忠誠を誓い、この忠誠という名の行進曲を作曲しました。行進曲ではありますが、宮廷の音楽らしく、厳かな雰囲気や華やかな雰囲気、また力強さが表現されています。

第2部 ポップスステージ

■メイン・ストリート・エレクトリカル・パレード

ディズニーランドの華やかな夜のパレードのテーマとなっている「バロック・ホウダウン (Baroque Hoedown)」が流れ続ける中、ディズニー映画のテーマ曲やディズニーランドのアトラクションの曲がちりばめられている様子が、エレクトリカルパレードをほうふつさせています。

■夢やぶれて／クロード・ミシェル・シェーンベルク 作曲

ミュージカル、映画ともに世界各国で大ヒットした「レ・ミゼラブル」の劇中歌です。物語は格差と貧困にあえぐ民衆が自由と希望を求めて立ち上がろうとしていた19世紀のフランスが舞台となっています。しかしながらこの曲名のとおり、激動の時代は夢が夢のまま終わったことが多かったのかも知れません。

■BASSMAN'S HOLIDAY チューバ吹きの休日／G. ハル 作曲

吹奏楽をバックにチューバがソロを演奏する形式となります。スイング調の軽快なリズムに乗って演奏するチューバが休日を楽しく過ごしているかのようです。曲後半には他の楽器も加わりディキシーのリズムでチューバを盛り上げます。

■UTA-HIME 歌姫 ～ 美空ひばりメドレー ～

昭和の歌謡界を代表する歌手、美空ひばりの楽曲をメドレーにしたものです。「愛燦燦」「東京キッド」「真赤な太陽」など、数々の名曲が登場します。そして最後の楽曲となった「川の流れるように」で締めくくります。昭和時代に思いを馳せることのできる一曲です。